

中地区住民センター 建設計画と駐車場確保

里脇 清隆 議員

Q 中地区住民センターは老朽化も進み、建替えを検討する時期にきていると思われ、今すぐとは言わないが、具体的に市の計画に挙げるべきだ。また、隣の中央保育所が放虎原小学校横にこども園として移行されることに伴い、現保育所は解体される予定だが、跡地を住民センターの駐車場として使えるよう整備されることを求める。

A 中地区住民センターは昭和46年に建設し、老朽化が激しく耐震構造でもないので、市の施設の中での建替えの優先度は上位にあると考えており、5、6年後の建替えを考えている。駐車場については、イベント等での駐車場が不足しているとの報告も受けており、中央保育所跡地を駐車場として利用できるよう前向きに検討していく。



都市整備

市道工事に地元の声を

村上 信行 議員

Q 新幹線路線のトンネル化で柴田地区の市道が分断される。住民が納得できるルート変更を示すべきだ。市は道路管理者として道路法の定めのとおり、地元住民の了解を得て、鉄道・運輸機構側と交差方法等について事前に協議すべきだ。

A 地元の同意については、町内会に3案が示されており、最終的には地元がどの案にするのかを決定することになる。正直なところ、市の意見も機構側になかなか通じない部分があるが、地元住民の声を代弁する形で協議に臨みたいと思う。

郡大橋下流左岸堤防及び 河口の整備について

水上 亨 議員

Q 郡大橋下流左岸堤防は雑木・竹などが繁茂し、通行もできない状態である。長崎がんなば国体のソフトボール競技会場

に隣接する場所であり、早急に整備すべきである。また、郡川河口には、県指定の準絶滅危惧種「ハマボウ」が群生し、大村湾沿岸で自生する貴重な場所であるため、県環境政策課と協議し、保全すべきである。

A 郡大橋下流左岸堤防については、大村市総合運動公園の整備の一環で、今年度雑木等の撤去を計画している。また、「ハマボウ」等の野生動物の捕獲や採取が禁止される希少野生動物種保存地域に本市も指定され、保存に努める必要があるため、周知啓発に努めたいと考えている。

大村湾をまたぐ夢の懸け橋 の実現について

水上 亨 議員

Q 空港、高速道路ICがあり、9年後に新幹線開業も控える県央都市大村は、交通の拠点として、県勢浮揚に大きな役割を果たすべきである。県民所得全国41位を向上させる大きな政策として、西彼杵半島と架橋で直結し、交通時間を大幅に短縮することが経済発展への近道である。大村湾架橋実現に向け国・県に沿岸自治体とともに強く要望すべきである。

A 長崎県、大村市浮揚のため、国や県に大村湾架橋の実現に向けて積極的に働きかけると同時に、具体的に計画を進め、民間の力もお借りしながら積極的に進めていきたいと思う。

新幹線関係の地区説明会の あり方について

山北 正久 議員

Q 5月に開催した「市民と議会のつどい」で新幹線関係の質問が集中した。三城地区の市道を分断するトンネル問題や郡地区に建設される車両基地等の説明会における当局側の一方的な説明に終始する態度に不信感を持たれている。地区住民への説明会は、開かれたガラス張りの説明会であることを強く求める。また、各種団体を入れた期成会の設置を。

A 住民の立場に立ち、計画の進め方、用地の相談、工事予定等が随時公表されるよう鉄道・運輸機構に強く要請していく。また、本市固有の新幹線整備に関する諸問題解決と情報共有のため、地元選出県議、市議会、関係機関、地元代表者等による（仮称）大村市新幹線建設推進期成会を立ち上げ、強力に事業推進を図っていく。